

新たな視点で民俗芸能の「未来」を語る。
『民俗芸能交流サロン 2025』 6月21日に開催！

京都郷土芸能「活性化してやろう」会（所在：京都市北区大北山原谷乾町118-5 会長：浅野高行）は6月21日土曜日14時から、『民俗芸能交流サロン2025』と題し、京都芸術センター（京都市中京区蛸薬師下る山伏山町546-2 元明倫小学校）で開催します。ゲストに宇治田楽まつり実行委員会、三味線奏者 駒田早代氏をお招きし、民俗芸能や古典芸能の現状や今後の継承、未来への展望を、課題を共有しながら語っていただく、新しい視点の芸能イベントです。会場では芸能の実演もあり、その迫力ある演技もお楽しみいただけます。

『民俗芸能交流サロン2025』

日時：令和7年6月21日土曜日 14:00～16:30（13:30開場・受付）
場所：京都芸術センター講堂（京都市中京区蛸薬師下る山伏山町546-2 元明倫小学校）
参加費：1,000円（当日徴収）
定員：100名 事前申込制（お席に余裕がある場合は当日参加も可能）

主催：京都郷土芸能「活性化してやろう」会
共催：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会）
協力：宇治田楽まつり実行委員会 駒桜の会
京都市文化市民局文化芸術企画課 京都市文化市民局文化財保護課

京都郷土芸能「活性化してやろう」会 申込URL：<https://www.imaami.com/salon/>

民俗芸能の「未来」を語る。

民俗芸能交流サロン 2025

Folk performing arts Salon

令和7年 (2025) **6.21** 土

14:00～16:30 (開場・受付13:30)

京都芸術センター 講堂

三味線

宇治田楽

実演とクロストーク

出演 宇治田楽 三味線奏者 駒田早代

主催：京都郷土芸能「活性化してやろう」会
共催：伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会）

伝統芸能文化 創生プロジェクト

■主催者紹介

京都郷土芸能「活性化してやろう」会（会長：浅野高行）は、京都各地の郷土芸能団体や古典芸能団体を繋ぐ役割を担うため、令和5年6月に発足しました。近年、各芸能団体で大きな問題となっている継承者不足などの諸問題を独自のネットワークと視点で地域の伝統文化の活性化、解決を目指して活動しています。

民俗芸能交流サロンは、京都郷土芸能「活性化してやろう」会が主催するイベントで、郷土芸能の未来の担い手育成および発掘に向けて、各芸能団体が定期的につどい、課題を共有できるように開催しています。昨年度は、令和6年7月6日土曜日、11月3日日曜日（祝日）の2回を開催しました。

また、「郷土芸能の若手継承へ向けたネットワークの構築と発信手法の探索」（令和5年度「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」採択事業）の取り組みとして、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスと共に、中堅若手世代の民俗芸能関係者が集う「民俗芸能交流会」を開催しています。

■プログラム

クロストーク 「民俗芸能における人材の確保への取り組み」

中谷雅夫氏（宇治田楽まつり実行委員会 会長）

井上智子氏（宇治田楽まつり実行委員会 委員）

浅野高行（京都郷土芸能「活性化してやろう」会 会長）

実演 **長唄三味線** 演奏：駒田早代氏（長唄三味線・津軽三味線奏者）

クロストーク 「各世代が考える伝統芸能の普及と未来」

駒田早代氏（長唄三味線・津軽三味線奏者）

浅野高行（京都郷土芸能「活性化してやろう」会 会長）

実演 **宇治田楽**（宇治田楽まつり実行委員会）

司会進行 迫間悟空氏（千本ゑんま堂大念佛狂言保存会 会員・千本六斎会 会員）

■今後の展開

このイベントを通して、民俗芸能や古典芸能の抱える問題を共有し、参加者で解決策を探り、自身の芸能団体へ持ち帰り実践してもらえるように展開していきます。また、10年後、30年後の未来ビジョンを考えることにより、これからの郷土芸能の希望ある未来を確立する手掛かりとして参ります。

次回は12月6日土曜日の開催を予定していますので、ぜひご期待ください。

※本事業は、令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受けて実施しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

京都郷土芸能「活性化してやろう」会

担当：浅野 高行

TEL：075-462-3414

Mail:Kyoto.kasseika@gmail.com